

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

マーラー交響曲第4番

天国的な美しさと悪魔的な闇
名匠・高関が究める
マーラーの奥深い世界

大いなる 喜びへの賛歌

ハイドン

交響曲第22番 変ホ長調 「哲学者」

HAYDN: Symphony No. 22 in E-flat major "The Philosopher"

マーラー

交響曲第4番 ト長調

「大いなる喜びへの賛歌」

MAHLER: Symphony No. 4 in G major

読売日本交響楽団 第645回 名曲シリーズ

2021年 9月24日(金) 19時開演

サントリーホール

Popular Series No. 645
Friday, 24 September 2021, 19:00 / Suntory Hall

S¥7,600 A¥6,600

B¥5,600 C¥4,100

カラヤン、バーンスタインらの薫陶を受け、
緻密なスコア分析で
音楽の核心へと迫る知性派

指揮=高関 健

Conductor= KEN TAKASEKI

透明感ある声と圧倒的な表現力で、
注目を浴びるソプラノの新星

ソプラノ=中江早希

Soprano= SAKI NAKAE

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

9月24日は、高関健が久しぶりに読響の指揮台上に上がり、成熟した深い芸術性を披露する。

高関といえば緻密な音楽作りが高い評価を呼び、数々の名演奏を残してきた。豊富な文献を渉猟して作品に臨む姿は、まさに“名匠”と呼ぶにふさわしい。その若かりし頃は、日本でのカラヤン指揮者コンクール優勝をきっかけに渡独、巨匠カラヤンの薫陶を受けた。カラヤンのレパートリーはいつでも暗譜で振れないといけなかった、と当時を振り返る。また、タングルウッド音楽祭では、マーラーの“伝道師”バーンスタインから直接の指導を受けた。その後、国内外でキャリアを積んだ高関は現在、常任指揮者を務める東京シティ・フィルでも、積極的にマーラーやブルックナー作品を取り上げて楽壇を沸かせている。交響曲の大家を得意とするレパートリーや綿密なスコア分析は、紛れもなく欧米で巨匠たちの血を脈々と受け継いで培われたものだ。その内に秘めたエネルギーは衰えるところを知らず、今も充実した活動を展開している。

今回、ハイドンとマーラーという交響曲史の始まりと終わりを代表するような二人のウィーンの作曲家が並んだ。前半、ハイドンの交響曲「哲学者」は、オーボエの代わりに用いられるイングリッシュ・ホルンの音色が印象的な作品。高関の明晰なタクトが、端正かつ躍動感あふれる音楽を生みだすだろう。

後半、交響曲第4番「大いなる喜びへの賛歌」は、マーラーが創作の新たな道へと踏み出すきっかけとなった作品。それまでの宇宙的な規模の世界観がぐっと凝縮された一作だ。鈴の音で始まる冒頭や、特殊な調弦のヴァイオリンが「死の舞踏」を奏でる第2楽章など、マーラー特有の響きや表現が広がる。高関はレナーテ・シュタルク＝フォイトによる新校訂版のスコアを細部まで読み込み、聖と俗、天国的な美しさと悪魔的な闇を絶妙なバランスで引き出すだろう。「天上の喜び」を歌う終楽章では、ソプラノ中江早希の透明感ある歌声が会場に澄みわたる。オペラや宗教曲でも抜群の表現力を発揮する新星に期待が集まる。



ソプラノ=中江早希

Soprano= SAKI NAKAE

透明感ある歌声と多彩な表現で注目を浴びるソプラノの新星。北海道教育大学岩見沢校卒業後、東京藝術大学大学院博士課程を修了。ジュリアード音楽院コンクール第1位など受賞多数。オペラではヘンデル「リナルド」アルミーダ役、モーツァルト「魔笛」夜の女王役、プッチーニ「ラ・ボエーム」ムゼッタ役などを演じるほか、ベートーヴェン「第九」、マーラー「千人の交響曲」、シェーンベルク「月に憑かれたピエロ」のソロを務めるなど、古楽から現代音楽まで幅広いレパートリーを持つ。これまでにプラハ室内管、バッハ・コレギウム・ジャパン、礼響、新日本フィル、神奈川フィルなど国内外の楽団と共演。モーツァルトのアリアを歌った初録音が18年「レコード芸術」の特選盤に選出され、その声量と表現力が絶賛される。読響とは、今年7月調布国際音楽祭でのメロッティ「電話」で共演し好評を博した。



名匠・高関健が振る深遠なるマーラー
天上の音楽が、会場を温かく包み込む

指揮=高関 健

Conductor= KEN TAKASEKI

緻密なスコアの分析からスケールの大きな音楽を作る知性派指揮者。桐朋学園在学中にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンに留学し、カラヤンのアシスタントを務める。2011年齋藤秀雄メモリアル基金賞、18年サントリー音楽賞などを受賞。現在、東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター、東京藝術大学指揮科教授兼大フィルハーモニア管首席指揮者などを務める。海外ではウィーン響、ベルリン・ドイツ響、プラハ放送響などに客演。近年はサントペテルブルク・フィルの定期演奏会で聴衆や楽員から大絶賛を受ける。マイスキーやパールマン、アルゲリッチら世界的ソリストとの共演も豊富であり、絶大な信頼を得ている。今年4月には、新国立劇場でストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキー「イオランタ」を指揮し、高い評価を得た。

読売日本交響楽団 第645回 名曲シリーズ

2021年 9月24日(金) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

●学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

●都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ●ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ●未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ●マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。 ●当初の発表から、出演者が一部変更になりました。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017